

2020年度 公益社団法人鎌倉青年会議所 理事長報告

第56代 理事長 牧田芳明

2020年度という年を、新型コロナウイルス感染症という存在を避けて語ることは出来ません。新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延は、世界を変え、社会を変えて、その変化は青年会議所が今まで行ってきた当たり前を全て覆し、強制的な変化を求められた、2020年はそんな一年でありました。当初予定していた例会や事業も、修正、変更、そして中止を余儀なくされたものも多くあります。しかしながら鎌倉青年会議所は、私の掲げさせていただきました「未来思考」というテーマ、そして「未来の為に、いま、出来ることを」というスローガンのもと、4つの委員会が未曾有の危機に対して真正面から立ち向かい活動をしてきたと確信をしております。

まず、岩本委員長が率いるまちづくり委員会は、50年以上続いてきた鎌倉青年会議所の大きな継続事業である第52回慈善茶会の中止という大きな危機に直面致しました。そんな中で、委員会は2月、9月、11月と3つの対外例会を開催いたしました。2月には鎌倉市との「SDGs 共同推進宣言」を松尾市長と共に締結させていただき、鎌倉市との連携を深めました。9月には2020年度は海水浴場が開設されないという事態から派生する様々な問題の一つの解決策として「湘南の海を守れ～真夏のビーチクリーン大作戦～」を8月から9月にかけて3日間行い、延べ900人を超える一般市民の皆様にご参加いただき大きなまちへの発信事業となりました。11月には「鎌倉コレクション」と題し、ビーチクリーンから連なる市内のごみ問題をさらに掘り下げた事業を、企業の協賛金を集めながら開催するというチャレンジを行いながら、さらにWEBでの発信をするという新たな形態を模索した事業となりました。このすべての事業は、この難しい時代の中「今、本当にまちに必要な事」を真剣に考え開催されたものであり、鎌倉のまちに対し大きな発信が出来たと確信いたします。

次に永田委員長が率いる拡大アカデミー委員会は拡大活動を中心的に行っていただくと共に、8月、11月に対外例会を含めた4つの例会と事業を、そして、当会議所の未来を見据える大きな提言を行っていただきました。8月は女性として当会議所で初めて正副に入られた中谷さえ先輩と大崎関東地区関東常任理事にご登壇いただき、青年会議所運動の意義を学ぶ機会を設けると共に、JCI3コースを1日かけて行うアカデミー事業を開催し、大きな学びの機会となりました。そして、11月には未来の拡大に向けた発信という目的で「鎌倉CM選手権」を中、高、大学生に向けて募集を募り松尾市長、大森観光協会会長、岩岡教育長をお呼びしてグランプリを決めるという新たな取り組みを行っていただきました。そして拡大に関しては本年度大変難しい時代背景にも構わず、11名の拡大という大きな成果を残していただいただけでなく、「拡大中長期計画」、「鎌倉ものつなぎプロジェクト」といった年度をまたぎ、当会議所の未来を見据える為の大きな提言をして頂きました。これら拡大アカデミーの事業は本年度だけでなく、次年度以降の当会議所の礎となる、大きな土台を作り上げていただいたと考えております。

続いて、根本委員長が率いる渉外交流委員会は、6月、10月、11月に対外例会を含めた5つの事業を開催していただくと共に、当会議所をより初めて第66代関東地区協議会会長並びに関東地区担当常任理事として出向された大崎厚郎君をはじめとする、多くの出向メンバーのバックアップをして頂きました。6月にはまだ緊急事態宣言が明けて間もない緊迫した状況の中、「私たちが絆す鎌倉の未来」として講師をお呼びした研修例会を、当会議所初めてとなるWEBと実地両面でのハイブリット開催をいたしました。10月には関東地区大会相模原大会へのWEB参画と世界会議支援金贈呈セレモニー、そして、新型コロナウイルス感染症でほぼ全ての市内の交流事業が中止される中で、敢えて感染対策を徹底した中で行う対面での行った交流事業「鎌倉ハロウィン」の開催は、「挑戦する」という事を一つの大きな目標として掲げる青年会議所活動の原点ともいえるべき、素晴らしいチャレンジであったと考えております。11月に実地とWEBのハイブリットでの開催となったJCI世界会議横浜大会の参画も含め、渉外交流委員会は文字通り、人と人の交流が制限されている中で、最大限の交流の機会を作り出していただいたと考えております。

最後に長野委員長が率いる総務広報委員会は1月、7月、12月の式典・交流会の開催と総会、理事会の設営を担っていただきました。1月の新年式典並びに賀詞交歓会は鎌倉市内関係諸団体の皆様と、例年よりも多くの来訪JCの皆様にお越しいただいた中での開催となりましたが、以降、総務広報委員会が携わる全ての事業は新型コロナウイルス感染症の影響で大きな変化が必要となりました。7月、12月の「次年度を祝う会」、「年末式典」に関しては、世相に合わせギリギリまで開催の形態を模索し続けました。そして、理事会、総会に関してはWEBを活用したWEB会議、WEB決裁、ハイブリット開催と新たな手法を取り入れながら、急激な時代の変化に合わせた会議形態を推進していきました。恐らく一番変化を求められた委員会であり、本年度、総務広報委員会が行ってきた変化は、必ず次年度以降の当会議所の財産になるものであると確信しております。

正直に申しますと、当初思い描いていた1年とは、大きくかけ離れた2020年でした。この大きく変わった社会情勢の中の青年会議所活動、未練がないかと言われれば、嘘になります。しかしながら、そんな未練も含めて、精一杯活動させていただいた1年間に後悔はありません。恐らくこれからも社会情勢が急激に、そして大きく変化するときが来るかと思えます。しかし、そんな中だからこそ、我々の運動が重要であり、青年会議所活動の灯をまちから消してはならない、と強く確信しております。最後になります。この前代未聞ともいえる社会情勢の変化の中、共に執行部として運動を推し進めてくださいました、片根竜哉副理事長、西崎肇副理事長、米澤寿人副理事長、様々にご指導を頂きました潮見雅利監事、今村広太郎監事、そして、初めての判断に悩み、苦しい時いつも見守っていただきました大崎厚郎特別理事、最後まで共にこの一年を走り抜けてくれた柿崎孝宏専務理事と、本年活動していただいた、全ての会員の皆様に心より感謝とお礼を申し述べ、理事長報告とさせていただきます。一年間、本当に、本当に、ありがとうございました。

2020年度 公益社団法人鎌倉青年会議所

副理事長・専務理事報告

副理事長報告

副理事長 米澤 寿人

本年度、まちづくり委員会の担当副理事長として、一年間活動させて頂きました。

最初は岩本委員長と二人で取り組んでいた事業も、時間が経つにつれて岩本委員長の人柄もあり、段々と委員メンバーを巻き込んでいくことができました。次年度段階から一生懸命準備を重ねてきた慈善茶会は残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により初の中止となってしまいました。しかし、委員の河江君の発想がきっかけとなり、緊急事態宣言の下でもまちに対して我々が出来る事は無いかと模索し、WEB 会議などを活用して毎晩遅い時間まで委員メンバーも巻き込んだ議論を重ねました。この事業は実現する事は出来ませんでした。この事業の実現を目指して共に活動したメンバーの絆はお互いにとって今後の人生においての財産になると私は確信しています。

頼りない副理事長ではありましたが、私を最後まで慕って頂いた岩本委員長、中村副委員長、そして委員会メンバーの皆様本当にありがとうございました。岩本委員長が率いるまちづくり委員会の担当になれて幸せでした。そして、この素晴らしい機会を頂いた牧田理事長に心からの感謝を申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

副理事長報告

副理事長 片根 竜哉

2020年度拡大アカデミー委員会の担当副理事長を務めさせていただきました。永田委員長率いる拡大研修委員会は、コロナウイルス感染症拡大にも関わらず、拡大を例年以上に拡大するとともに3つの例会、1つの事業を行い、大変貴重な機会を頂けたと感謝しております。

当会議所では毎年、拡大活動を課題に活動をしていきましたが、会員の減少傾向が著しいのが現状でした。そこで、新たな試みを次年度段階から行い、賀詞交歓会では多くのゲストを集めることができ、拡大活動へとつなげていくことができました。しかし、コロナウイルス感染症の拡大によって拡大活動の停止となった時期もありました。ただ本年度は、多くのことを拡大に注視する目的で、公開委員会を開いたり、次年度まで続く「鎌倉ものつなぎ」事業を行ったりと、多くのメンバーを巻き込んで行うことが出来ました。この様に例年にない状況でも、今できることを委員長、副委員長が率先して活動してくれたことで、このような状況下でも大きな拡大活動となったのは、先輩諸氏の皆様、協働団体の皆様、鎌倉青年会議所全体で協力して頂いたからだと感謝しております。

最後になりますが、1年通して率先して委員会を引っ張ってきた永田委員長、それを支えてきた三橋副委員長をはじめとする委員会メンバー、共に1年を活動してきた正副メンバー、そしてこの様な得難い機会を与えて下さいました牧田理事長を始めと致しました鎌倉青年会議所の全てのメンバーに感謝を申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。

1年間どうもありがとうございました。

副理事長報告

副理事長 西崎 肇

本年は、渉外交流委員会の担当副理事長として、実りのある一年を過ごさせて頂きました。根本委員長率いる渉外交流委員会はコロナ禍でも躍動し、4つの例会を全て成功に結び付けることが出来ました。

残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の状況により3月例会「メモリアルデー ～Toward the World Congress…～」は中止となってしまいましたが、感染症拡大対策を徹底しながら、6月例会「私たちが絆す鎌倉の未来」を鎌倉商工会議所地下ホールにて開催し、このコロナ禍においても大切なコミュニケーションスキルを学びました。10月には関東地区協議会主催の「第68回関東地区大会相模原大会」が7月より延期、並びにウェブ開催になるという事を受けて、鎌倉商工会議所地下ホールにてメインフォーラムと式典をライブビューイング形式で参加し、その後大会のテーマを元に、オブザーブ参加した一般社団法人逗子葉山青年会議所、一般社団法人藤沢青年会議所と共にコラボレーションゲームをしました。同10月にはこのコロナ禍で相次ぐ市内イベント中止の中でも新しい生活様式を手法として取り込み、10月第2例会「鎌倉ハロウィンフェスティバル～気になる君としゃべらずハロウィン！～」を鎌倉海浜公園で開催し、多くの市民と共に仮装を楽しみながら、視覚的な交流を図る事が出来ました。そして11月にはJCIの最大の運動の発信の場である「2020 JCI World Congress Yokohama」がパシフィコ横浜で開催される中、関東地区協議会、並びに神奈川ブロック協議会が主催するフォーラムを例会として、多くのメンバーと共に実地参加しました。

多くの例会や事業を委員会と共に行う事で、本年度テーマである「未来思考」を体現できた一年になったと確信しております。

最後になりますが、副理事長という大役を仰せつかったことを大変光栄に思うとともに、貴重な機会を与えて下さった牧田理事長、どんな状況でも頑張ってくれてくれた根本委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様、そして委員会の垣根を超えてご協力賜りました鎌倉青年会議所メンバーの皆様に、心から感謝を申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。

専務理事報告

専務理事 柿崎 孝宏

私は本年度、牧田芳明理事長の下、専務理事という大変貴重な経験させて頂く機会をいただきました。牧田理事長の掲げたテーマである「未来思考」の下1年間やってきました。

1月の京都会議をはじめ、県内20LOMの新年式典に理事長と参加させていただき、各LOMの運動発信を肌で感じ、他LOMの方向性、当会議所との違いを感じる事ができました。また、1月例会「定時総会」「新年式典・賀詞交歓会」では本年度体制を発信する機会を設営いたしました。年間業務としては、各月の会議の設営、神奈川ブロック協議会への出向者支援、さらに本年度の関東地区協議会には会長として大崎厚郎君が出向しており、関東地区協議会への出向者支援も行いました。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で各種例会、事業、大会など中止や延期、WEBでの仕様変更開催と普段とは違った1年だったかと思います。鎌倉青年会議所のスローガン「未来の為に、今、出来ることを」、掲げたテーマ「未来思考」をコロナ禍でも考えながら、新しいことにチャレンジして例会や事業を行えたことは、貴重な経験でした。

神奈川ブロック協議会、会員会議所連絡会議に出向して他LOMとの情報交換、交流も行いたくさんの仲間も出来て素晴らしい1年を体験できました。

結びとなりますが、昨年の拡大委員長を経て今年の専務理事を受けるに当たり、苦手意識がありました。「自分はどこまでできるのだろうか、本当にやれるのか」と。ただ、ふざけて怒られてもいい、周りにいる人達を精一杯楽しませようとやってきました。自分たちが常に明るくないと明るい未来はないと考え1年間やってきました。そんな私を周りの仲間たちが支えてくれたおかげでやりきれぬ事が出来たと思います。そんな支えてくれた仲間と貴重な経験をいただけた鎌倉青年会議所に感謝を申し上げ、専務理事報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

2020年度 委員会事業報告

まちづくり委員会

拡大アカデミー委員会

渉外交流委員会

総務広報委員会

拡大アカデミー委員会

- 委員長名：永田 磨梨奈
- 副委員長名：三橋 肇
- 委員名：石井 政彦、石井 裕太、岩濱 サラ、竹村 眞、増田 将生、メタ バラッツ

事業報告

(I) 会員拡大と継続拡大基盤作りの実施

- (a) 内 容：会員拡大活動並びに継続拡大できる基盤作り
- (b) 時 期：2020年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、対象者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(II) 鎌倉青年会議所運動の価値や想いを伝える事業の実施

- (a) 内 容：講演会の開催（中止）
- (b) 時 期：2020年 4月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(III) 鎌倉青年会議所運動に意義を抱けるようになるための事業の実施

- (a) 内 容：青年会議所運動を学ぶ研修事業
- (b) 時 期：2020年8月19日（水）19：00～21：00
- (c) 開 催 場 所：商工会議所301号室及びZOOM
- (d) 対 象：正会員24名

(IV) 若者たちと語り運動やまちの未来を考える事業の実施

- (a) 内 容：交流会の開催
- (b) 時 期：2020年11月17日（火）
- (c) 開 催 場 所：商工会議所301号室及びZOOM
- (d) 対 象：正会員25名、一般市民10名

(V) 経験年数の少ない会員の研修事業

- (a) 内 容：研修事業並びに各種青年会議所大会でのブース出展（中止）
- (b) 時 期：2020年8月29日（8月新規事業）
- (c) 開 催 場 所：長谷別邸
- (d) 対 象：正会員14名

2) 委員会報告

本年度拡大アカデミー委員会は、年々メンバーが減少傾向にある中において、当委員会が率先して拡大活動を行い、多くの出会いを通じて、切磋琢磨し成長し合える機会を提供することにより、メンバーひとりひとりが拡大活動の担い手であるという意識を持てる気風を生み出し、単年度で完了することにはない持続可能な拡大計画を示すことが必要であるという理念の下活動を展開してまいりました。

4月例会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、中止となりました。しかしながら青年会議所運動や拡大の必要性などについてオンラインを駆使し、公開委員会を開催したことによりメンバー間での意識の醸成とともに共有を図ることができました。

8月例会では、「青年会議所運動とは」というタイトルの下、中谷さえ先輩、そして大崎厚郎君と、性別、年代、JCキャリアと異なるおふたりに多角的に青年会議所運動についてご講演いただきました。本例会を通じて、メンバーそれぞれの立場においてこれからの青年会議所運動について見つめ直すきっかけを作り、メンバーひとりひとりが青年会議所運動に意義を抱き、新しい時代に力強く運動を行う推進力となるヒントを得ることができました。

8月事業では、入会歴の異なるメンバーに向け、JC (Junior Chamber : 青年会議所) 運動の理念・本質は変わる事なく共通のものとするため JC 公式3コースを受講しました。本事業を通じて、JC 運動の基礎を学ぶことによりメンバーの自身の所属する団体への理解度を深めることができました。日頃より多くの機会に口にし、耳にしているセレモニーの意味、青年会議所の成り立ち、そして議案構築にまで踏み込んだ内容のコースを受け、研修終了後の感想が止まることのないメンバーの様子を拝見することができ、これからの活動の一助となる事業になったと確信しております。

11月例会では、短期的な拡大活動だけに囚われることなく数年後の拡大活動を見据え当会議所がこれまで行って来なかった拡大活路を見出す時と捉え、未来の拡大対象である子ども、そして青少年達との交流を目的に市内在住学の中高大学生を対象とした動画コンテスト「鎌倉 CM 選手権」を開催しました。目標を超えた中高大学生に参加いただき、青少年事業開催の際に連絡を出すべく青少年リストを作成することができました。

3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で動けない状態が続くなど未だかつてない危機に見舞われた2020年の拡大でした。しかしながら対面で集まることができない中でオンラインでの公開委員会を始め、メンバー間でのつながりを持つことによりアカデミーという側面では多くのことが学べる1年になったと感じています。

結びとなりますが、メンバー全員で拡大意識を持つことの重要性を多くのメンバーと共有する中で、浮かび上がる課題に対し複数年にわたる中長期計画も策定することができとこと、そして結果11名の拡大ができたことは鎌倉青年会議所全員で勝ち取ったものだと考え、感謝を申し上げます。

渉外交流委員会

- 担当専務理事名：西崎 肇
- 委員長名：根本 紗央里
- 副委員長名：青木 智博
- 委員名：大森 啓田、小倉 諒太、郷原 啓介、森山 桂多、吉田 健次
- 作成者名：根本 紗央里

1) 事業報告

(I) 渉外に関する事業

- (a) 内容：公益社団法人日本青年会議所本会
関東地区協議会並びに神奈川ブロック協議会事業への参加、
出向者支援、関係諸団体事業への参加
- (b) 時期：2020年1月～12月
- (c) 対象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、先輩諸氏
- (d) 結果の公表：年間を通じて、参加を促進し、出向を支援することができました。

(II) 先輩諸氏との交流を通じて過去を知り未来につなげる事業（中止）

- (a) 内容：メモリアルデーの開催
- (b) 時期：2020年3月
- (c) 対象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、先輩諸氏
- (d) 結果の公表：中止

(III) 近隣の青年会議所と交流し学びを得るための事業

- (a) 内容：近隣LOMとの交流事業の開催
- (b) 時期：2020年6月
- (c) 対象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者
- (d) 結果の公表：近隣青年会議所との交流は行わず、交流のための研修事業を行いました

(IV) 会員同士の友情を深め友好の輪を広げ、学びを得るための事業

- (a) 内容：関東地区大会相模原大会、世界会議横浜大会への参加及び先輩諸氏との交流会
- (b) 時期：2020年10月（延期例会並びに新規事業）、11月
- (c) 対象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、先輩諸氏
- (d) 結果の公表：各諸大会の参画を促進しました

(V) 市民が新たにつながる機会を創出する事業

- (a) 内 容：世代を越えた交流事業の開催
- (b) 時 期：2020年10月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：市民同士の交流の促進を促す事業を行いました

2) 委員会報告

2020年度渉外交流委員会では、市民同士の相互理解の減少にともない、様々な事業構築をおこなってまいりました。市民がお互いに尊重し合い、共に支え合うことの出来る土壌を築く為に、会員一人ひとりが、青年会議所活動の中にある事業を通じて知見を広げ、新たなつながりを構築できる人材に近づく為に一年間活動しました。

まず渉外事業では、県内で多く開催される青年会議所の諸事業への積極的な参加を啓発し、出向している多くの会員が出向先での活動意欲の向上となり会員が多くの学びとつながりを得られるよう年間を通して支援を行って参りました。そして、今年に入り、新型コロナウイルスの蔓延により先輩諸氏との交流に繋がるモリアルデーは、やむを得なく開催を中止といたしました。次に、会員が鎌倉の中だけでなく、様々な地域で同じ志を持って活動する仲間と共に学び、つながりを持てるような人材となるため、コミュニケーションを学ぶ機会を設けました。次に、出向する多くの会員が活躍する相模原で開催される関東地区大会は、鎌倉商工会議所地下ホールにてライブビューイング形式で開催しました。その中で、一般社団法人逗子葉山青年会議所、一般社団法人藤沢青年会議所をオブザーバーとして参加していただき、より多くのメンバーで視聴し、レクレーションでは、人との繋がりについて学ぶことができました。そして横浜で開催される世界会議は、神奈川ブロック主催のフォーラム、関東地区協議会が主催するフォーラムを、学を広げる為の機会といたしました。最後に、鎌倉に住み暮らす市民同士の相互理解の一助となるよう、世代を越えて誰でも参加できる、感染対策を徹底した新たな生活様式での交流事業を開催しました。

当委員会では、これらの事業を本年度テーマの「未来思考」の精神で推し進めて様々な地域や世代の方々と交流する事で、会員一人ひとりが知見を広げ、新たなつながりを構築できる人材へと成長し、そして鎌倉に住み暮らす市民同士の相互理解しやすい環境を創出する事につながり、ひいては「明るい豊かな社会の実現」に近づくことができたと考えております。

最後になりますが、委員長という大役を任せて下さった牧田理事長、寄り添い、細やかなご指導をいただきました西崎副理事長、より良い事業構築のために様々なご意見をくださいました理事会構成メンバーの皆様、そして、日々の委員会の運営を支えていただき、率先して協力して下さった委員会メンバーの皆様に深く御礼を申し上げ、委員会報告とさせていただきます。1年間、本当に有難うございました。

総務広報委員会

- 担当専務理事名：柿崎 孝宏
- 委員長名：長野 トーマスマコト
- 副委員長名：松永 充広
- 委員名：秋山 友恵、菅 倫明、勝呂 雄介、松原 洋平、宮脇 沙紀、
山上 亮、和久 裕治
- 作成者名：長野トーマスマコト

1) 事業報告

(I) 会議の開催及び青年会議所運営全般

- (a) 内容：総会並びに理事会の開催、青年会議所の運営
- (b) 時期：2020年 1月～12月
- (c) 結果：理事会をスケジュール通りに、定足数を満たし開催いたしました。
第115回総会 出席19名 委任状6通
第116回臨時総会 出席15名 委任状13通
第117回臨時総会 出席17名 委任状14通

(II) 交流会の開催

- (a) 内容：新年式典・賀詞交歓会、次年度理事長を祝う会、卒業生を送る会の開催
- (b) 時期：2020年1月、7月、12月
- (c) 結果：
新年式典・賀詞交歓会 会員26名、先輩諸氏27名、来賓23名、来訪JC96名、ゲスト11名
次年度理事長を祝う会 会員24名、先輩諸氏13名、ゲスト5名
卒業生を送る会の開催

(III) 広報に関する事業

- (a) 内容：鎌倉青年会議所の運動発信、ホームページ、SNSの管理、運営
- (b) 時期：2020年 1月～12月
- (c) 結果：年間を通じて、ホームページの更新、SNSの管理を行うことができました。

2) 委員会報告

2020年度総務広報委員会では、当会議所の会員が一丸となって行動することによりまちに対して、より大きな影響を与えることができると考え、会の根幹を織りなす三つの要素をしっかりと構築することにより、明るい豊かな社会の実現に向けて活動する当会議所の根

幹を支える一助になると考え、一年間活動しました。

会議の開催及び青年会議所運営全般では、重要な意思決定機関である総会及び理事会を厳正に運営し、会員の積極的な参加を促し、会議運営手法の浸透させることによって、円滑な会務運営を行いました。次に、交流会の開催では、当会議所の歴史と伝統を形作っていた先輩諸氏、関係諸団体の皆さまとの交流を図りました。

最後になりますが、委員長という役を任せて下さった牧田理事長、困ったときにすぐに相談に乗ってくれた柿崎専務、より良い事業構築のために様々なご意見をくださいました正副理事長、両監事、そして特別監事。又、日々の委員会の運営を支えていただき、率先して協力して下さった委員会メンバーの皆様に深く御礼を申し上げ、委員会報告とさせていただきます。1年間本当に有難うございました。

2020年度 出向者報告

■公益社団法人 日本青年会議所

サマーコンファレンス運営特別委員会

委員

西崎 肇

本年度、私はサマーコンファレンス運営特別委員会に委員として出向させて頂きました。本来であれば7月に横浜の地で開催されるはずだったサマーコンファレンス自体がコロナ禍で残念ながら中止となり、その学びや規模感を感じる事が出来ませんでした。11月の世界会議にて当委員会がジャパンフォーラムを受け持つこととなり、他LOMの方々と新しい出会いもあり、少ない時間ではございましたが、事業の構築の仕方など非常に勉強になりました。

最後になりますが、本年出向の機会を与えて下さいました牧田理事長をはじめ、共に出向した菅君、そしてご協力頂きました鎌倉青年会議所のメンバーの皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

サマーコンファレンス運営特別委員会

委員

菅 倫明

2020年度、私は日本青年会議所サマーコンファレンス特別委員会として出向させて頂きました。しかし、残念ながら、サマーコンファレンスは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となってしまいましたが、横浜の地で行われた世界会議において、JAPAN FORUMⅢをサマーコンファレンス特別委員会が担うことになり、この設営を委員として担うことが出来ました。このFORUMによって、サマーコンファレンス特別委員会のメンバーとも結束し、仲間になることが出来ました。この経験を今後の仕事、JC活動に活かしてまいります。出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

国際ビジネス推進会議

委員

長野 トーマス

マコト

2020年度、私は国際ビジネス推進会議の委員として出向者しました。委員会では他LOMに在籍している様々なメンバーと交流することができ、神奈川県のみならず、他県の方々と共に活動することができました。コロナウイルス感染症の影響で県外での活動に積極的に参加できなかったのが残念でした。最後に、このような素晴らしい機会をくださいました牧田理事長をはじめといたします鎌倉青年会議所メンバーに感謝を申し上げ、出向報告とさせていただきます。ありがとうございました。

■公益社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会

関東地区協議会

会長

大崎 厚郎

2020年度、公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会へ会長として出向させていただきました。「紡がれた繋がりが変化の起点となる ブランディングされた関東の創造」というスローガンのもと、関東地区内157会員会議所約7500人のメンバーの為になる運動を創ってまいりましたが、本年は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、各委員会にて準備してきたものをしっかりと発揮することが難しい状況でありました。しかし、動けずに困っている各地会員会議所にとって良くも悪くも参考になればとの想いで活動してまいりました。

また、日本青年会議所本会では、関東地区担当常任理事の役職も兼務しておりました。この役職では、関東の代表として本会の事業に対して意見を言い、議決権を行使してまいりました。LOMの外に出ることにより様々な角度からこのまちを見る事ができ、JCI鎌倉の現状を改めて認識する大きな機会となりました。来年も、この貴重な経験を青年会議所運動に活かしていけるように活動してまいります。

最後に、出向という機会を与えて下さった牧田理事長をはじめとするJCI鎌倉の皆様、OB諸兄姉、そして事務局長として共に活動した松永充広君に心からの感謝を申し上げ出向者報告とさせていただきます。

関東地区協議会

事務局長 松永 充広

本年度、私は公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会事務局局長として出向させていただきました。事務局の担いである、会議設営や会員会議所会議、関東地区大会式典の担当をさせていただきました。事務局では日々行われている青年会議所活動の根幹を学ぶことが出来、それが青年会議所運動へと昇華される瞬間を体験できた事は今後の私の人生の中で大きな財産となりました。

また、本年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い例年とは大きく会議設営や運営が異なり一つ一つの会議全て事業だと思い携わらせて頂きました。会議設営運営はどこまで気づく事が出来るのかが如何に大切なことであるか。それと同時にどのような場においてもどこまで想定し考え抜けるかが設営する身として大切かと学ばせて頂きました。

最後になりますが牧田理事長をはじめとされる鎌倉青年会議所のメンバー、ともに出向した関東地区内青年会議所メンバーの皆様に感謝申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

一年間有難うございました。

関東地区協議会

事務局次長 片根 竜哉

2020年度、私は関東地区協議会の事務局次長として出向させて頂きました。関東地区協議会で運営や設営といったことを行うなかで、準備の大切さ、環境の整備の大切さを学ぶことができました。この経験を今後の仕事、JC活動に活かしてまいります。

出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

関東地区協議会

事務局次長 米澤 寿人

本年は関東地区協議会の事務局次長として、片根事務局次長と共に松永事務局長を支える役割を務めさせて頂きました。私は主に鎌倉で行う会議などの会場予約や設営を担当させて頂きましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により会場の変更や予約が難しい状況も経験しました。ですが、そんな中でも他 LOM から出向されている事務局次長や委員たちとは困難の中だからこそ互いに連携して協力しあう中で非常に強い絆が生まれたと実感しています。出向を通じて関東の各地に仲間が出来たこの経験こそ出向の財産であると感じています。これからは当会議所のメンバーにも自らの経験をもとに出向の機会をぜひ活かして多くの仲間を築き、青年会議所活動を通じて自らの財産として頂ける様に出向の楽しさを伝えていきます。

最後に牧田理事長、大崎会長、松永事務局長、今回出向の機会を頂き本当にありがとうございました。

関東地区協議会

事務局委員 青木 智博

2020年度、私は関東地区協議会の事務局運営委員として出向させて頂きました。関東地区協議会で運営や設営といったことを行うなかで、準備の大切さ、関東地区の規模の大きさを学ぶことができました。また、様々な地域の人と活動を共にすることで、企業人として大きな刺激を得ることができました。この経験を今後のJC活動に活かしてまいります。

出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

関東地区協議会

事務局委員 石井 政彦

2020年度、私は関東地区協議会の事務局委員として出向させて頂きました。関東地区出向では主に会議の設営等をさせて頂きました。

出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

関東地区協議会

事務局委員 大森 啓田

本年度、私は関東地区協議会事務局として出向させて頂きました。他 LOM の方々との新しい出会いがあり、少ない時間ではございましたが、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。上部組織の事務局運営という大変大きな組織で、如何にして運営の下支えをするか非常に勉強になりました。

最後になりますが、1年間大変お世話になりました関東地区協議会事務局の皆様、そして私を出向させて頂きました牧田理事長をはじめとする LOM のメンバーの皆様に感謝申し上げ、出向者報告とさせていただきます。有難うございました。

関東地区協議会

事務局委員 今村 広太郎

2020年度、私は公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会事務局運営委員として出向の機会をいただきました。その中で運営や設営といったことを行うなかで、会議や事業をスムーズに行うには事前の準備が大切だということを改めて知りました。この経験を今後のJC活動に活かしてまいります。

この度、出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

関東地区協議会

事務局委員 中村 太一

2020年度、私は関東地区協議会の事務局運営委員として出向させて頂きました。ほとんど参加はかないませんでしたが、つながりの大切さを学ぶことができました。この経験を今後のJC活動に活かしてまいります。

出向という機会を頂きました理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

関東地区協議会

事務局委員 三宅 孝昌

2020年度、私は関東地区協議会の事務局運営委員として出向させて頂きました。出向する中で、新たな発見とつながりの大切さを学ぶことができました。この経験を今後の活動、仕事に活かしてまいります。

出向という機会を頂きました理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

関東地区協議会

事務局委員 三橋 肇

2020年度、私は関東地区協議会の事務局運営委員として出向させて頂きました。8ブロック協議会という大きな地域の中で、多くの会議を設営する中で、関東地区の仲間達と多くつながりを持つことができ、新たな発見とつながりの大切さを学ぶことができました。この経験を今後の活動、仕事に活かしてまいります。

出向という機会を頂きました理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

関東地区協議会

事務局委員 根本 紗央里

この度、関東地区協議会の事務局へ出向させて頂き、会員会議所並びに役員会議、関東地区大会式典の設えを重きに活動させて頂きました。

会員会議所並びに役員会議の設えでは、鎌倉青年会議所の理事会の設えに沢山学びを持ち帰ることができました。関東地区大会では、当日会場での設えはかなわなかったものの、LOMでのライブビューイングで、マイク音声不具合報告など、現地会場と密に連絡をとり合い委員としての活動を行ってまいりました。今後得た学びを鎌倉青年会議所持ち帰り、今後の運動の発展につなげたいと思います。

鎌倉青年会議所から出向、そして支援をしていただき、誠にありがとうございました。

関東地区協議会

事務局委員 河江 徳子

2020年度、私は関東地区協議会の事務局運営委員として出向させて頂きました。関東地区の仲間達と多くつながりを持つことができ、つながりの大切さを学ぶことができました。この経験を今後のJC活動、仕事に活かしてまいります。

出向という機会を頂きました理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げ出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

■公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会

会員会議所連絡会議

委員 柿崎 孝宏

2020年度、私は公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会員会議所連絡会議に委員として出向させて頂きました。各地会員会議所の将来を担うメンバーが委員として多数出向しており、共に活動する中で多くのことを学ぶことができました。また、数多くの仲間ができ、大変有意義な一年間でした。

このような素晴らしい機会を下さいました牧田理事長をはじめといたします鎌倉青年会議所の皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

会員会議所連絡会議

委員 松原 洋平

2020年度、私は公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会員会議所連絡会議に委員として出向させていただきました。出向する中で多くの発見や気づきを頂きました。また、数多くの仲間ができ、大変有意義な一年間でした。

このような素晴らしい機会を下さいました牧田理事長をはじめといたします鎌倉青年会議所の皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

ブロック大会運営委員会

委員 岩濱 サラ

2020年度、私は神奈川ブロック協議会のブロック大会運営委員会として出向させて頂きました。神奈川ブロック協議会で運営や設営といったことを行うなかで、準備の大切さ、環境の整備の大切さを学ぶことができました。この経験を今後のJC活動に活かしたいと思います。

出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げます出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

ブロック大会運営委員会

委員 西崎 肇

本年度、ブロック大会運営委員会に委員として出向させて頂きました。本来であれば9月に平塚の地でかくも盛大に開催されるはずだったブロック大会平塚大会はコロナ禍で中止・延期となり、その学びや規模感を感じる事が出来ませんでした。その中でも他LOMの方々との新しい出会いは、少ない時間の中でも有意義なものとなりました。

最後になりますが、本年出向の機会を与えて下さいました牧田理事長をはじめ、そしてご協力頂きました鎌倉青年会議所のメンバーの皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

ブロック大会運営委員会

委員 森山 桂多

本年度、私は神奈川ブロック協議会のブロック大会運営委員会として出向させて頂きました。

出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げます出向者報告とさせていただきます。一年間有難うございました。

事務局

委員

今村 広太郎

2020年度、私は公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会事務局運営委員として出向の機会をいただきました。その中で、会議や事業をスムーズに行うには事前の準備が大切だということを改めて知りました。この経験を今後のJC活動に活かしてまいります。また神奈川県内の仲間が増え、自分の見識を広げる貴重な機会となりました。

この度、出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げます。一年間有難うございました。

事務局

委員

竹村 眞

2020年度、私は神奈川ブロック協議会の事務局運営委員として出向させて頂きました。神奈川ブロック協議会で運営や設営といった担いを行う中で、多くの気づきと学びを得ることが出来ました。この経験を今後のJC活動、仕事に活かしてゆきたいと考えております。

出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げます。一年間有難うございました。

事務局

委員

山上 亮

2020年度、私は神奈川ブロック協議会の事務局運営委員として出向させて頂きました。神奈川県内の多くのメンバーとの出会いがありました。この経験を今後のJC活動、仕事に活かしてゆきたいと考えております。

出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げます。一年間有難うございました。

拡大アカデミー委員会

委員

石井 政彦

2020年度、私は日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会の拡大アカデミー委員会の委員として出向させて頂きました。新型コロナウイルス感染症の影響で、活動等を行うことができませんでした。鎌倉青年会議所に拡大として在籍しておりましたので何か持ち帰りたかったのですが、それができずに残念です。

出向という機会を頂きました牧田理事長をはじめ、鎌倉青年会議所のメンバー、ご指導頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げます。有難うございました。

拡大アカデミー委員会

委員 宮沢 輝

本年度、私は日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会の拡大アカデミー委員会の委員として出向させていただきました。多くの県内の仲間達と意見交換をすることができました。この経験を活かして今後の活動に邁進して参りたいと思います。

今回、このような貴重な機会を賜りました牧田理事長、そして委員会の活動にご理解と協力を賜りました多くのメンバーの皆様にご心から感謝を申し上げ、出向者報告と代えさせていただきます。

かながわ発信委員会

委員 根本 紗央里

この度、神奈川ブロック協議会のかながわ発信委員会へ出向させていただき、世界会議横浜大会のフォーラムの設えを主に活動いたしました。本来であれば、「Welcome Night」という、海外のJCの方々との交流をメインにしたフォーラムでしたが、新型コロナウイルスの影響により、神奈川県が推し進めている「未病」をテーマにしたフォーラムを作成いたしました。作成段階では未病のことについて学び、動画作成など、世界会議というJCI最大の運動の発信の場の運営側として携われたことは、またとない機会だったと考えております。今回得た学びを鎌倉青年会議所持ち帰り、今後の運動の発展につなげたいと思います。

鎌倉青年会議所から出向させていただき、そして支援をしていただき、誠にありがとうございました。

かながわ発信委員会

委員 メタ バラッツ

2020年度、神奈川ブロック協議会のかながわ発信委員会に委員として出向させていただきました。コロナ禍ではありましたが、どんな状況でも私自身が一番に感じた事はL O Mの垣根を越えたたくさんの出会いや気づきがありました。

こうした経験は出向するか迷っていた私の背中を押して頂いた牧田理事長をはじめ、ともに出向したメンバーの皆様にご深く感謝を申し上げ出向者報告と代えさせていただきます。一年間ありがとうございました。

選挙管理委員会

委員長 潮見 雅利

私は、公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会の選挙管理委員会委員長として出向いたしました。選挙管理委員会では県内21会員会議所より私を含めて5名のメンバーで、神奈川ブロック協議会の第54代会長の選出に関する諸管理を行いました。会長の選出にあたり、神奈川ブロック協議会の第54代会長の立候補者として、一般社団法人横浜青年会議所に所属の坂倉賢君より立候補届を受理しました。その後資格審査を行い、会

長候補者として適格であることを審査いたしました。

委員会の運営に当たりお世話になりました神奈川ブロック協議会の会長向島史朗君をはじめとする多くのメンバー、そして出向させていただきました牧田理事長をはじめとする鎌倉青年会議所のメンバーに御礼を申し上げ出向者報告に替えさせていただきます。